

日本経済新聞「第21回環境経営度調査」 建設業で2年連続首位

積水ハウス株式会社は、日本経済新聞社が実施した「第21回環境経営度調査」環境経営度ランキングにおいて、2040年までに事業活動で利用する電力の100%再生可能エネルギー化（RE100）やネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）普及率74%などの温暖化対策、そして、施工現場で建築廃棄物を27種類に分別し、廃棄物をQRコードで種類ごとに把握するシステム構築による取り組み推進が高く評価され、2年連続で建設業首位を獲得しました。

「環境経営度調査」は企業が環境対策と経営を両立させる取り組みを評価する調査で、第21回となる今回は上場企業と非上場企業の有力企業のうち、製造業1724社、建設業を含む製造業以外1357社を対象に行われ、676社が有効回答しました。

- 建設業で2年連続首位を獲得
- 2040年までに事業活動で利用する電力の100%再生エネルギー化
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）普及率74%など温暖化対策が評価
- 施工現場で廃棄物を27分別、廃棄物管理システム構築による取り組み推進が評価
- 「エコ・ファースト企業」として、住宅業界を牽引し、環境経営をさらに推進

積水ハウスは、建築業の5指標のうち①環境経営推進体制、②汚染対策・生物多様性対応、③資源循環、④製品対策の4指標でトップスコアを得ました。さらに、⑤温暖化対策においても高く評価された結果、総合点でトップとなり2年連続で建設業首位となりました。

温暖化対策として、当社が進めている取り組みのうち、長期目標として2050年「脱炭素」、2040年「再生エネルギー100%」、2030年パリ協定の目標遵守を明確化し、高い断熱性と高効率設備による省エネルギーと太陽光発電や燃料電池などの創エネ機器導入により、エネルギー収支「ゼロ」を実現するネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）である「グリーンファーストゼロ」の普及率を業界でも群を抜く新築戸建住宅の74%にまで広げている実績などが評価されたものと考えております。

積水ハウスは環境大臣認定の環境先進企業「エコ・ファースト企業」として、環境に対する取り組みを継続してまいりました。今後も、「既存住宅まで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上(2013年比CO₂削減39.3%)削減」などを目指し2016年12月1日に更新した「エコ・ファーストの約束」を果たすべく、環境経営をさらに加速させてまいります。

<ご参考>

当社の環境・CSRの取り組みを紹介している「サステナビリティ レポート 2017」

<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>



ネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）である
「グリーンファーストゼロ」の例



【本件についてのお問合せ】 積水ハウス株式会社 広報部
(大阪) TEL 06-6440-3021 (東京) TEL 03-5575-1740
(本社) 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

